

香川大学教育学部 学生からの意見と学部の対応（令和5年2月）基盤整備委員会	
（1）授業や教育課程、教育プログラムに関すること	
該当なし	
（2）学修支援に関すること	
該当なし	
（3）学生生活支援に関すること	
・ Foodbankを作って欲しい（冷蔵庫を備えた大規模なもの）（英語）	
※委員会としての対応	
学生支援課に要請し、検討してもらいます。	
（4）教育環境設備に関すること	
・ 教室の内装や廊下などは老朽化が目立っているため点検、改善等してほしい。（幼児）	
※委員会としての対応	
教育学部に配分される予算上の諸問題を再度確認し、少しでも快適な学習環境となるよう検討します。	
・ Wi-Fiが授業等必要なときに必要な場所でしっかりとつながるようにしてほしい。（幼児）	
※委員会としての対応	
教育学部に配分される予算上の諸問題を再度確認し、整備計画を検討します。現時点では授業優先で整備を進めています。	
・ 図書館内にオンライン授業（授業内発言あり）を受けられるスペースがほしい。体育館の更衣室を大きくしてほしい。（教育）	
※委員会としての対応	
図書館にはラーニングコモンズ等のスペースがありますので利用していただきたい。 更衣室の拡大については、大規模改修が必要であるため、本部施設課に相談します。	
・ 学務と教職支援センターがそれぞれ別のところにあり、書類提出などどちらにすればよいのか、わかりにくいことがあるため、まとめてほしい。（生活・総合）	
※委員会としての対応	
近年行われた全学の事務体制の見直しにより、配置されたものであり、教育学部からもその計画時点で強く意見したが、現在の配置となってしまった。難しいが交渉していく。	
・ 自動販売機をすべてICカード決済可能にして欲しい。（数学）	
※委員会としての対応	
自販機設置業者の対応事項ですが、業者に伝えていきたい。	
・ 喫煙所を設置した方がよい。（数学）	
※委員会としての対応	
大学構内の禁煙は、大学の方針であり、変更は難しい。	
・ 学生の構内への車両乗り入れに関する規制を緩和してほしい。（数学）（→路上喫煙、近隣店舗での違法駐車が後を絶たないのは制限が厳しいからではないか。コンビニの喫煙スペースにたむろしているのも印象が悪いと感じる。）（数学）	
※委員会としての対応	
大学幸町キャンパスの面積は広くはなく、入構台数は、規定により限られている。緩和は難しい。	

(1) 授業や教育課程、教育プログラムに関すること

①-1 取得単位や、免許取得のための必須授業がどれなのかなどが分かりにくいいため、より分かりやすく提示してほしい。(幼児)

①-2 幼児コースじゃないと授業だけでは保育士資格が取れなかった。管轄が違うから取れるようには難しいかもだけど、入学時点で言って欲しかった。学務「資格取れる」、幼児の先生「資格取れない」の板挟みで振り回されました。教職員間でちゃんと連携してほしいです。(教育)

①-3 ドリームキャンパスで見ることができる成績の、科目区分別習得状況の科目数にずれがあり不安になる。取得できているのかわからない。(生活・総合)

※委員会としての対応

■①-1～①-3

保育士資格は幼児教育コースのみ大学で資格取得ができます。

大学では、幼児教育コース以外の学生の幼稚園教諭免許状取得は可能ですが、保育士資格の取得はできません。保育士資格の取得を希望する方は、保育士試験を自分で申し込んで受験をして保育士資格を取得することができます。幼児教育コースで開設されている保育士資格取得のための科目を履修することは試験の際に役立ちます。

幼児教育コース以外の学生が保育士資格の取得を希望する場合、幼児教育コースの教員などに相談してください。今後、学務係及び幼児教育コースの教員が連携し、学生の方で混乱が生じないような伝え方を工夫していきます。

卒業要件と免許要件の2本立てで複雑なことは事実です。これを簡便に解決する手立てはないため、入学年次の「履修の手引」を自身で確認し、不明な点は指導教員または学務係へ問い合わせるよう伝えており、この点が理解されるよう徹底していきます。

②-1 2年次からの授業内容やどんなことをするのがあまり分かっておらず、先の見通しが立ちにくい。(幼児)

※委員会としての対応

■②-1 年度始めの領域ガイダンスの参加時に確認していただいたり、希望する免許によって一律の履修とはならないため、3-4年次の開講科目にも留意しながら履修するよう指導・支援を強化していきます。

③-1 保育実習の事前指導をもう少し手厚くしてほしい。(幼児)

※委員会としての対応

■③-1 関係教員等へは周知をしていますが、フィードバックや課題のあり方については、引き続き適切な方向について検討します。

③-2 提出したレポートに対するフィードバックが毎回欲しい。(英語)

※委員会としての対応

■③-2 関係教員等へは周知をしていますが、フィードバックや課題のあり方については、引き続き適切な方向について検討します。

③-3 成績が出た際に実際に自分に成績がどういった評価をされたのか分からない。成績を数値化してほしい。(出席8/10, 課題20/40など) (英語)

※委員会としての対応

■③-3 関係教員等へは周知をしていますが、フィードバックや課題のあり方については、引き続き適切な方向について検討します。

③-4 課題が多いせいで自分のやりたいことができない。(英語)

※委員会としての対応

■③-4 関係教員等へは周知をしていますが、フィードバックや課題のあり方については、引き続き適切な方向について検討します。

<p>③-5 英語の授業でスピーキングとリスニングをする機会がないため力がかからない。（英語）</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■③-5 関係教員等へは周知をしていますが、フィードバックや課題のあり方については、引き続き適切な方向について検討します。</p>
<p>④-1 授業内で使わない教科書を購入指定しないでほしい。（教育）</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■④-1 授業に関わる学びは授業時だけではありません。副読本や予復習を含む授業外の学習などの自学自習のために購入してもらっています。</p>
<p>⑤-1 授業内外を問わず、子どもと関わる機会がもう少しあればと思った。（教育）</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■⑤-1 コロナ禍で従来通りの取組が提供できなかった面もありますが、大学入門ゼミ、教育実践プレ演習、教育実践演習、教職実践演習等、附属学校園への訪問や体験活動等、個々の授業科目の内容や単位数も含めた見直し、改善にも着手しています。</p>
<p>⑤-2 もっと実践があってもよかった。やっぱり現場行かないと見えない。（教育）</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■⑤-2 コロナ禍で従来通りの取組が提供できなかった面もありますが、大学入門ゼミ、教育実践プレ演習、教育実践演習、教職実践演習等、附属学校園への訪問や体験活動等、個々の授業科目の内容や単位数も含めた見直し、改善にも着手しています。</p>
<p>⑤-3 授業実践や学級経営の機会が少ない。（国語）</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■⑤-3 コロナ禍で従来通りの取組が提供できなかった面もありますが、大学入門ゼミ、教育実践プレ演習、教育実践演習、教職実践演習等、附属学校園への訪問や体験活動等、個々の授業科目の内容や単位数も含めた見直し、改善にも着手しています。</p>
<p>⑤-4 卒業時に4月からの教員生活についてわからないことが多い→大学の授業が即していないのではないか。（国語）</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■⑤-4 コロナ禍で従来通りの取組が提供できなかった面もありますが、大学入門ゼミ、教育実践プレ演習、教育実践演習、教職実践演習等、附属学校園への訪問や体験活動等、個々の授業科目の内容や単位数も含めた見直し、改善にも着手しています。</p>
<p>⑤-5 単発の模擬授業は多いが、45分、50分実践することがない。（国語）</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■⑤-5 コロナ禍で従来通りの取組が提供できなかった面もありますが、大学入門ゼミ、教育実践プレ演習、教育実践演習、教職実践演習等、附属学校園への訪問や体験活動等、個々の授業科目の内容や単位数も含めた見直し、改善にも着手しています。</p>
<p>⑤-6 単元や年間の指導計画を立てることがない。（国語）</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■⑤-6 コロナ禍で従来通りの取組が提供できなかった面もありますが、大学入門ゼミ、教育実践プレ演習、教育実践演習、教職実践演習等、附属学校園への訪問や体験活動等、個々の授業科目の内容や単位数も含めた見直し、改善にも着手しています。</p>

<p>⑤-7_小学校コースは初等授業研究があるものの中学校コースではそれに準じたものがなく,あまり指導案を書く機会に触れることなく実習を迎え,より実習中の負担が増える。(社会)</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■⑤-7 コロナ禍で従来通りの取組が提供できなかった面もありますが、大学入門ゼミ、教育実践プレ演習、教育実践演習、教職実践演習等、附属学校園への訪問や体験活動等、個々の授業科目の内容や単位数も含めた見直し、改善にも着手しています。</p>
<p>⑤-8_附属の先生方の模範授業を見る機会が増えれば良い。(数学)</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■⑤-8 コロナ禍で従来通りの取組が提供できなかった面もありますが、大学入門ゼミ、教育実践プレ演習、教育実践演習、教職実践演習等、附属学校園への訪問や体験活動等、個々の授業科目の内容や単位数も含めた見直し、改善にも着手しています。</p>
<p>⑥-1_社会科の隔年開講のシステムがあるせいで取りたい科目をとりたいたととることができない。(社会)</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■⑥-1 隔年開講は可能な限り開講できるよう努力する一方、当該年より先も見通した履修とするよう指導を充実させていきます。授業内容については、シラバスの記載方法等を工夫しているところですが、より内容や方法が学生に伝わるようにしていきます。</p>
<p>⑥-2_模擬 (All-English)を行う授業を増やしてほしい。(英語)</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■⑥-2 隔年開講は可能な限り開講できるよう努力する一方、当該年より先も見通した履修とするよう指導を充実させていきます。授業内容については、シラバスの記載方法等を工夫しているところですが、より内容や方法が学生に伝わるようにしていきます。</p>
<p>⑥-3_授業名に合った授業を行って欲しい。(英語)</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■⑥-3 隔年開講は可能な限り開講できるよう努力する一方、当該年より先も見通した履修とするよう指導を充実させていきます。授業内容については、シラバスの記載方法等を工夫しているところですが、より内容や方法が学生に伝わるようにしていきます。</p>
<p>⑦-1_理科領域以外の先生にも高専からの編入生がいることを知ってほしい。(理科)</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■⑦-1 教育学部教員で共有しているところですが、授業における発言や対応等にも反映されるようにしていきます。</p>
<p>⑧-1_指導する教員が変わってしまうと時間割が変更になってしまい、履修が不可能になり取得したい免許が卒業までに取得できなくなるかもしれない場合があった。(美術)</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■⑧-1 授業時間の延長等がないよう周知していますが、それを徹底していきます。免許取得に関わる場合は早めに学務係へも相談する等、これまでも行ってきた事項ですがさらに徹底していきます。</p>
<p>⑧-2_授業時間外に授業をしないでほしい。(技術)</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■⑧-2 授業時間の延長等がないよう周知していますが、それを徹底していきます。免許取得に関わる場合は早めに学務係へも相談する等、これまでも行ってきた事項ですがさらに徹底していきます。</p>

(2) 学修支援に関すること
①-1 授業で使っていない空き教室を簡単に見られるようにしてほしい。(幼児)
※委員会としての対応
■①-1 空き教室の利用については、SDGsとの関係もあり、比較的小規模な教室を使うよう推奨しています。北キャンパスには多くの講義室がありますが、一時使用で埋まっている場合もあるので、学務係窓口で確認の上使ってください。
②-1 病気や家庭の事情等で休まざるをえない人への対応をもう少し柔軟にしてほしい。(幼児)
※委員会としての対応
■②-1 大学の基本方針に従って授業運営していますが、それを踏まえた具体的な取り扱いは個々の授業者の判断に委ねている面もあるので、担当教員と相談して対応してください。
③-1 履修について分かりにくいことが多い。また、必要な単位なのにコマが被っている、隔年開講など履修を組みづらい。(教育)
※委員会としての対応
■③-1 入学年次の「履修の手引」を確認し、不明な点は指導教員または学務係へ問い合わせてください。繰り返しになりますが、取得予定の免許を踏まえ、1-2年後の履修可能性も踏まえて履修計画を立てるよう、引き続き周知していきます。ドリームキャンパスは現在改修予定ですが、免許は種類も多く履修科目の組み合わせも複雑で、残念ながらシステム上でわかりやすくするには限界があります。
③-2 履修登録のシステムなんとかして欲しい。過去の先輩のデータとか参考に履修組みたい。(教育)
※委員会としての対応
■③-2 入学年次の「履修の手引」を確認し、不明な点は指導教員または学務係へ問い合わせてください。繰り返しになりますが、取得予定の免許を踏まえ、1-2年後の履修可能性も踏まえて履修計画を立てるよう、引き続き周知していきます。ドリームキャンパスは現在改修予定ですが、免許は種類も多く履修科目の組み合わせも複雑で、残念ながらシステム上でわかりやすくするには限界があります。
③-3 履修登録の際に一から学生自身が行うのではなく、基本骨子を用意してもらってそこから学生が組み替える方式にして欲しい。(教育)
※委員会としての対応
■③-3 入学年次の「履修の手引」を確認し、不明な点は指導教員または学務係へ問い合わせてください。繰り返しになりますが、取得予定の免許を踏まえ、1-2年後の履修可能性も踏まえて履修計画を立てるよう、引き続き周知していきます。ドリームキャンパスは現在改修予定ですが、免許は種類も多く履修科目の組み合わせも複雑で、残念ながらシステム上でわかりやすくするには限界があります。
③-4 ドリームキャンパスで見ることができる成績の、科目区分別習得状況の科目数にずれがあり不安なため、学務係へ相談に行ったところ、それは信用せずに自分で、紙冊子で確認しろと言われ、直してくれることはなかった。(生活・総合)
※委員会としての対応
■③-4 入学年次の「履修の手引」を確認し、不明な点は指導教員または学務係へ問い合わせてください。繰り返しになりますが、取得予定の免許を踏まえ、1-2年後の履修可能性も踏まえて履修計画を立てるよう、引き続き周知していきます。ドリームキャンパスは現在改修予定ですが、免許は種類も多く履修科目の組み合わせも複雑で、残念ながらシステム上でわかりやすくするには限界があります。

<p>③-5 履修登録のシステムが少しわかりにくいと感じた。サポーターの方もいらっしゃるが、システムそのものがわかりやすいものにアップグレードしていただきたい。(美術)</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■③-5 入学年次の「履修の手引」を確認し、不明な点は指導教員または学務係へ問い合わせてください。繰り返しになりますが、取得予定の免許を踏まえ、1-2年後の履修可能性も踏まえて履修計画を立てるよう、引き続き周知していきます。ドリームキャンパスは現在改修予定ですが、免許は種類も多く履修科目の組み合わせも複雑で、残念ながらシステム上でわかりやすくするには限界があります。</p>
<p>③-6 システム上で卒業までに必要な単位数(必要な授業)が見られると、安心して卒業要件を満たすことができると感じる。(美術)</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■③-6 入学年次の「履修の手引」を確認し、不明な点は指導教員または学務係へ問い合わせてください。繰り返しになりますが、取得予定の免許を踏まえ、1-2年後の履修可能性も踏まえて履修計画を立てるよう、引き続き周知していきます。ドリームキャンパスは現在改修予定ですが、免許は種類も多く履修科目の組み合わせも複雑で、残念ながらシステム上でわかりやすくするには限界があります。</p>
<p>④-1 他県で教採を受験する人にも、優しい制度を作って欲しい。例えば、他県の教科書・指導書も置くとか。(教育)</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■④-1 教職支援課へ希望図書(出版社名など)を申し出てください。できる限り購入をしていきます。</p>
<p>⑤-1 単位取得についての不安があれば積極的に相談に取り合ってくれる窓口が欲しい。学務に相談に行った際に通り一遍の回答しか得られず、より不安が増したため。(家庭)</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■⑤-1 実質、科目の開講時間を個々の学生の要望に応じて変えることは困難です。個別の単位取得についての疑義は異議申し立て制度を活用ください。履修科目全体については、指導教員等とも相談しながら、重複がある場合は副面の優先順位等を考えて対応してください。</p>
<p>⑤-2 必修科目の時間割が重なっており、学務係に指示を仰いだところ、後日別の学生には全く別の指示をしていたことが学生伝いにわかった。授業担当の先生に手間を取らせてしまったので、学務の中で対応が決定していないときは連絡先を控えるなどして後から対応が変更されたのであれば教えてほしかった。(家庭)</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■⑤-2 実質、科目の開講時間を個々の学生の要望に応じて変えることは困難です。個別の単位取得についての疑義は異議申し立て制度を活用ください。履修科目全体については、指導教員等とも相談しながら、重複がある場合は副面の優先順位等を考えて対応してください。</p>
<p>⑥-1 学校や教授、授業内容を学生が評価出来るように。(英語)</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■⑥-1 授業ごとの授業評価アンケートでは対応できない課題や困難がある場合は、学務係に直接相談いただくか、学長へのご意見箱へ投函してください。個々の具体に応じて対応します。</p>
<p>(3) 学生生活支援に関すること</p>
<p>該当なし</p>
<p>(4) 教育環境設備に関すること</p>
<p>①-1 空き教室がわかりにくいいため、そういうのがリアルタイムで見えたらよい。(技術)</p>
<p>※委員会としての対応</p>
<p>■①-1 北キャンパスには多くの講義室があり、定時開講と一時使用がありますので、管理する上では学務係窓口でお尋ねください。</p>

香川大学教育学部 学生からの意見と学部の対応 (令和5年2月) 学生支援専門委員会

(1) 授業や教育課程、教育プログラムに関すること

該当なし

(2) 学修支援に関すること

①一般企業への就職支援を強化してほしい。(技術)

※委員会としての対応

一般企業や官公庁への就職支援は、香川大学全体でキャリア支援センターに情報や人員を集中配置し、特化した支援活動をしています。そのため、年度始めのガイダンスにて松島学生支援専門員長より、一般企業や官公庁への就職支援にはキャリア支援センターを使用してほしいことを周知しています。なお教育学部では、教員採用試験に関して特化した就職支援をしています。

(3) 学生生活支援に関すること

①民間企業を志望する人に関するの情報や教育学部の就活生同士の交流会がもっとあればよいと思う。民間企業への就職を目指している学生や教員になるか民間企業に就職するか迷っている学生への支援として、民間企業に就職した先輩からの就活情報や、同期との情報交換の機会があればよいと思う。(生活・総合)

※委員会としての対応

一般企業や官公庁への就職支援は、香川大学全体でキャリア支援センターに情報や人員を集中配置し、特化した支援活動をしています。そのため、年度始めのガイダンスにて松島学生支援専門員長より、一般企業や官公庁への就職支援にはキャリア支援センターを使用してほしいことを周知しています。なお教育学部では、教員採用試験に関して特化した就職支援をしています。

②学食をもう少し安くしてほしい。(理科)

※委員会としての対応

香川大学生生活協同組に学部より選出された学生が理事として参加する「理事会」があります。その学生理事を通して問題提起していただくのはいかがでしょうか。

③就職支援の予約のシステムがDream campusなどとは別にあり、少し見つけにくく感じるためシステムの一元化などをしてほしい。(美術)

※委員会としての対応

今年度よりDream Campusが新しく更新されることもあり、以前から就職支援の予約システム(カガタス)と連動しようと検討をしましたがシステム上とても難しいようです。カガタスは簡単に使えるよう工夫されており、学生個人の香大IDやパスワードで利用できるようになっていました。とても充実した内容ですのご活用ください。

<参考までに、キャリア支援センターHP><https://www.kagawa-u.ac.jp/career/>

④試験内容の違いにより教員採用試験の授業や自主サークルの活動に参加できない自治体があったので、もう少し対策をしてくれるとうれしい。(家庭)

※委員会としての対応

教職自主サークルの世話人(学生)や担当教員へ希望をお伝えしました。今後何か要望があれば、サークル世話人や担当教員に申し出てください。学生主導のサークルですので、サークル世話人と話し合いをしていくことが大切だと思います。

(4) 教育環境設備に関すること

該当なし

香川大学教育学部 学生からの意見と学部の対応（令和5年2月） 教育実習実施委員会

（1）授業や教育課程、教育プログラムに関すること

①実習に関して、経済的な負担が大きくまた実習先によって偏りがあるため、交通費等実習にかかる費用は一部負担してほしい。（幼児）

※委員会としての対応

① 幼児教育コース生は教育実習に加え、3回の保育実習での費用負担が大きいこと、特に保育実習IB（施設実習）に関して、実習費に加え、限られた実習先ゆえに交通費等の負担が大きいことは十分理解している。施設に支払っている一人15,000円の実習費用のうち、現在、半額の7,500円を大学予算から補助している。自己負担となっている残り7,500円の実習費用は、令和5年度より教育学部後援会（幸楠会）の（学生指導支援事業）として援助いただけることになり、後援会加入者は実習費の負担なく実施できるようにする。

②2年次からの授業内容やどんなことをするのがあまり分かっておらず、先の見通しが立ちにくい。（幼児）

※委員会としての対応

②現在は1年次4月／10月／2年次4月のコース別ガイダンスで周知している。不足している具体的な内容を確認した上で、1年次の教職概論のコース別の時間等を活用し、1年次担任とも連携して必要な情報が過不足なく伝わるようにしたい。

③保育実習の事前指導をもう少し手厚くしてほしい。（幼児）

※委員会としての対応

③実地指導講師を含む事前指導担当教員と、必要な内容をその都度確認しこれまで実践してきた。大学側で具体的な内容の細部に渡り指導を進めた結果、各施設での担当者との指導内容との間にずれが生じ、学生自身が戸惑うケースがあることを他の保育士養成校から耳にすることもありどの程度まで踏み込んだ事前指導を行うかは、2年生の段階で修得可能な水準も含めて慎重に検討する必要がある。具体的に何をどう手厚くしてほしいのかを学生から改めて聴きとったうえで、各施設の指導担当者との相互理解を進めながら、担当教員中心に内容を引き続き検討したい。

（2）学修支援に関すること

該当なし

（3）学生生活支援に関すること

該当なし

（4）教育環境設備に関すること

該当なし

香川大学教育学部 学生からの意見と学部の対応（令和5年2月）国際交流委員会

(1) 授業や教育課程、教育プログラムに関すること

該当なし

(2) 学修支援に関すること

該当なし

(3) 学生生活支援に関すること

・留学のためにイギリスにも協定校がほしい。（英語）

※委員会としての対応

授業料や居住費が高いというハードルがありますが、可能性について今後検討します。

(4) 教育環境設備に関すること

該当なし